

令和6年3月 市長記者会見 配布資料

発 表 要 旨

期 日 令和6年3月 21 日(木)

時 間 午前 10 時～午前 11 時(予定)

発 表 内 容

1 健康寿命日本一に向けた取組みの強化について

……<健康医療対策課>

2 市職員の「地域課題解決に向けた副業制度」について

……………<総務課>

【事前質問】

- ① 割れ残り断層等を抱え、その後、孤立等の可能性がある集落への支援物資の配給や避難方法の確保は進んでいますか？（防災課）
- ② 現在、市民への緊急放送には有線と市民メールを併用していますが、大雪や地震での有線切断を考えると、市民メールだけではメールを見ることのできない高齢者世帯等へ緊急連絡は可能ですか？ FM 波など、無線を使った緊急放送への切り替えが必要ではありませんか？（防災課）
- ③ 世界遺産登録後の観光需要や、災害時の避難手段等を考えた場合、空港2千メートル化の必要性をどのように考えていますか？ 県担当課や知事へのアプローチは続けていますか？ 反応はいかがですか？（交通政策課）
- ④ トキエアの佐渡就航に向けた観光戦略及び地域活性化策はありますか？（観光振興課）
- ⑤ 世界遺産登録実現に向け、県知事と再びパリに行くということですが、今回の日程と目的、面会予定について聞かせてください。（世界遺産推進課）
- ⑥ イコモス勧告の時期の見通しをお知らせください。また、佐渡市への周知方法をお知らせください。中間報告についても、同様に示してください。（世界遺産推進課）

市長記者会見発表内容 要旨 (R6.3.21)

1 健康寿命日本一に向けた取組みの強化について

<概要>

- 健康寿命日本一を目指し、令和5年度から健幸ぽいんと事業を開始し、延べ6,182人と多くの方から参加いただきましたが、50代以下の参加率が1割程度と非常に低い状況でした。
- 新年度は新潟県が実施している「にいがたヘルス&スポーツマイレージ」事業との連携をはかり、若年層の健康づくりへの参加を促します。
- にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業は、働く世代や子育て世代(20~50代)が主な対象で、ウォーキング等の運動、スポーツイベントの参加、健康診断の受診などの健康活動をスマートフォンアプリで「見える化」し、協力店舗で利用可能なポイントを付与するなど、インセンティブを設けることで、運動習慣の定着や健康づくりを推進するものです。
- 佐渡市において、まずは、若者が多く参加する佐渡トキマラソンをポイント対象のスポーツイベントとしていただくよう、新潟県と調整をしたところです。
- 新潟県のアプリでたまったポイントを佐渡市の健幸ぽいんとに交換できるよう連携することで、より多くの市民に参加を促し、健康寿命の延伸に向け、市民の健康づくりに取り組んでまいります。
- 佐渡トキマラソンに参加される皆様にアプリに登録していただき、健康寿命日本一の実現に向け、一緒に取り組んでいただきたいと思います。

2 市職員の「地域課題解決に向けた副業制度」について

<概要>

- 公務員の副業は、既に全国的に拡大する自治体が増えています。
- 佐渡市においても、農業、漁業等での労働力不足や、地域コミュニティの衰退等の地域課題があることから、副業の拡大に向けて検討を進めてきました。
- 市民の皆様には制度概要を広報誌でお知らせし、2月末までを期限としてアンケートを実施しました。

- 主なご意見として「職員は業務に専念すべき」や、「副業ができるなら 職員を減らすべき」といったご意見をいただいた一方、「労働人口が不足する時代であり、市職員の活用は有効である」、また、「地域の子ども達のために時間を割いてもらうので、部活動指導などは適切な報酬を支払うべき」などのご意見をいただきました。
- これらのご意見を踏まえ、佐渡市の地域課題である「労働力不足の解消」と、異業種を経験することによる「若手職員のスキルアップ」を目的として、農林水産業、高齢者支援、部活動指導員に限定して、令和6年4月から副業制度を開始します。
- 国の基準を準用し、勤務時間外に上限時間を設けて行うことや、利害関係者との兼ね合いから役職職員を除いた職員に限るなど、一定の基準を設けてスタートします。
- 今後も対象業種や副業可能な時間といった要件をホームページで公表するとともに、実際に行われた副業の内容を市民の皆様に公表するなど、制度の実施状況をお知らせすることで、ご理解をいただけるよう努めてまいります。